

令和7年度進捗評価シート
甲州市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 甲州市景観計画との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業	3
2 旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業	4
3 史跡勝沼氏館跡保存整備事業	5
4 歴史的風致形成建造物等整備事業	6
5 甲州市農村ワーキングホリデー事業	7
6 市内伝統芸能・祭典継承事業	8
7 歴史文化の発信事業	9
8 歴史的風致散策・景観形成協働事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現状と今後の方針	11
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針	12
3 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画	13
4 文化財の防災に関する具体的な計画	14
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 朝刊「地元住民らが戦国絵巻再現」他	15
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題	16
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	17

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
計画の実施に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会生涯学習課に事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
教育委員会生涯学習課文化財担当が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調整する。	
状況を示す写真や資料等			
<p> 甲州市文化財審議会 甲州市都市計画審議会 甲州市景観審議会 </p> <p>国・県</p> <p>甲州市総合計画 甲州市都市計画マスタープラン</p> <p> 庁内における進行管理、調整体制 庁議 市長・副市長・教育長・会計管理者・議会事務局・政策秘書課長・総務課長・財務経営課長・各支所長及び各部門の代表 総務文教部門 ↔ 厚生経済部門 歴史まちづくり庁内WG (担当者会議) </p> <p> 法定協議会 甲州市 歴史的風致維持向上協議会 ・学識経験者、団体等 ・地域の代表者 ・行政機関(甲州市) </p> <p>文化財の所有者等</p> <p>事務局 (教育委員会生涯学習課)</p> <p> 報告 提案 意見等 </p> <p>連絡調整</p> <p> 評価の改善の報告 計画の提案 実施報告等 </p> <p>歴史まちづくり庁内WG</p>			
<p>甲州市歴史的風致維持向上協議会 ○令和7年度は令和7年5月20日に実施した。</p> <p>歴史まちづくり庁内WG ○令和7年度は実施なし。</p>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
甲州市景観計画との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

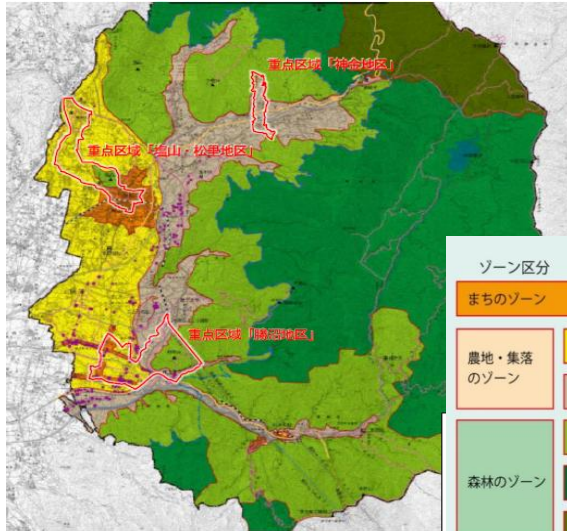
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。
 (令和7年度実績: 7件 市補助金額 147,000円)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
森林のゾーン	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

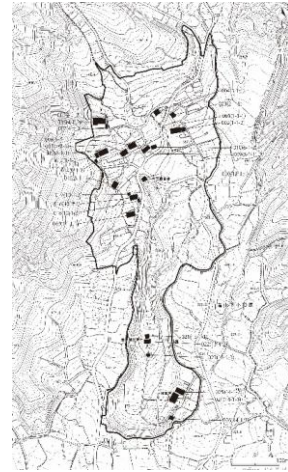
		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(令和7年度県市補助事業)		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物(特定物件)である、県指定文化財金井加里神社本殿の檜皮葺の屋根が腐食し、場所によっては銅板で補修している状態であったため、令和7年度葺き替え及び修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物(特定物件)としては、今後も所有者の意向があれば、密に連携し、補助事業として対応していく。		

状況を示す写真や資料等

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区



【上条集落眺望】



【上条集落 集落全体図】

歴史的建造物(特定物件)修理工事



着手前



完成後

【金井加里神社本殿保存修理事業】

着手日: 令和7年 7月 3日
 完成日: 令和8年 1月 23日

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～ 令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法など方向性について検討を行っている。令和7年度については実施事業は無かったが、宮光園敷地北側斜面に所在し、倒壊の危険がある旧展望台(バーベキュー棟)の解体を検討した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	宮光園の整備後、数年が経過しているため、所々修繕を必要とする箇所が見受けられるようになっている。敷地内建物の整備計画の方針の見直しを行いながら、現状維持に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			

市指定文化財 宮光園



【市指定文化財 宮光園】



【宮光園 旧展望台(バーベキュー棟)】

宮光園敷地北側斜面に所在し、倒壊の危険がある旧展望台(バーベキュー棟)の解体を検討した。

未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】



【 東三番蔵解体跡 】

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
史跡勝沼氏館跡保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(史跡等保存活用計画策定事業)		
計画に記載している内容	史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度においては、国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(史跡等保存活用計画策定事業)を活用事業として、次期整備に向けて、保存活用検討委員会を開催し、新たな保存活用計画策定に向けて調査・検討を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度保存活用計画の策定を目指している。策定後は、史跡整備を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			

国史跡 勝沼氏館跡



【国史跡 勝沼氏館跡 案内板】



【国史跡 勝沼氏館跡 内郭】



【国史跡 勝沼氏館跡 全体図】



令和7年度史跡勝沼氏館跡保存活用検討委員会
 第1回 令和7年6月23日 第2回 令和7年11月17日
 第3回 令和8年2月2日 第4回 令和8年3月23日

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物を指定し、適切な修理・修景を行うことと、公開施設やガイダンス施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は歴史的建造物の修理・修景事業として、国登録有形文化財旧田中銀行社屋の外壁修繕、重要文化財旧高野家住宅(甘草屋敷)の敷地を巡っている塀の改修工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内に点在する文化財の現状から優先順位をつけて、計画的に修理・整備事業を実施できるように関係部局との調整を進めていく。		

状況を示す写真や資料等

登録有形文化財 旧田中銀行社屋(旧田中銀行博物館)

修繕前



修繕後



【国登録有形文化財 旧田中銀行社屋外壁修繕】

〈修理予定箇所〉

経年劣化によって外壁のモルタル仕上げ部分の一部が剥離し、亀裂が入っていたため、外壁修理を行った。

重要文化財旧高野家住宅(甘草屋敷)

改修前



改修後



【重要文化財旧高野家住宅 南・西塀改修】

〈修理予定箇所〉

重要文化財旧高野家住宅の敷地の塀(未指定)が経年劣化によって傾いてしまったため、修繕を行った。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
甲州市農村ワーキングホリデー事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコログキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図る「農村ワーキングホリデー」事業は、令和2年度より受入休止しているが、果樹栽培に係る農作業全般及び地域農業支援が行える人材育成として、「地域おこし協力隊(「アグリトレーニー」)」として受け入れる取り組みを行っている。 また、令和4年度に世界農業遺産として認定された「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム(地域:山梨市・笛吹市・甲州市)」事業として、人材育成及び普及啓発のため各種イベントを実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。		
状況を示す写真や資料等			

地域おこし協力隊「アグリトレーニー」制度を活用した果樹農家の育成

<業務概要>

【主たる業務】 果樹栽培に係る農作業全般と地域農業支援

1. 果樹栽培研修
支援機関が管理するほ場において、ぶどう・桃を中心に年間を通して果樹栽培に必要な作業を実地研修することにより、独立営農に必要な果樹栽培の知識・技術を身に付けます。
2. 地域農業支援
地域農家の作業負担軽減を目的とし支援機関が受託する農作業に従事することにより、地域農家との交流を図ります。
3. 耕作放棄地対策
耕作放棄により荒れた畑は病害虫の温床になります。これを回避するため、支援機関が土地所有者から借り受けほ場として再生する作業に従事します。重機操作や伐根新植などの知識が得られます。
4. その他地域交流
地域の共同選果場等の農業施設の手伝いや地域行事の参加による地域交流で、退任後の就農を支えるネットワークづくりを図ります。

【退任後の進路】

任期を通して得た果実栽培に関する知識・技術とネットワークを基盤に、地域農業の新たな担い手として活躍す

**棚掛け技術を学ぶ！
甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会**

ブドウ畑の姿は、世界農業遺産や日本遺産の重要な構成資産のひとつであり、認定に当たり高く評価された点の一つです。峡東地域が日本のブドウの産地となったのは、この甲州式ブドウ棚による緑蔭・大木柱立ての栽培方法が確立されたことが大きな要因といえます。

「甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会」では、甲州式ブドウ棚の棚掛け技術を実際の作業を見ながら現場で学びます。

日時 令和8年2月26日(木) 9:30～12:00
※雨天中止

講師 飯島 秀仁 氏
峡東地域世界農業遺産 棚掛けマイスター

内容 甲州式ブドウ棚の修繕方法など

会場 高野園 (笛吹市御坂町下黒駒)

対象者 峡東地域在住の方で棚掛けの技術を学びたい方

申込 令和8年2月20日(金)までに、申込フォーム(QRコード)または、メールに氏名、住所、電話番号を記載のうえ、お申し込みください。
※先着15名となります。

申し込み・問い合わせ先
峡東地域世界農業遺産推進協議会
〒400-0001 山梨県甲州市南木曽町1-1-1
TEL: 055-261-2033
E-Mail: naip@naip.or.jp / naip@naip.or.jp

【棚掛け技術を学ぶ！ 甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会】

甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会を開催しました。峡東地域世界農業遺産推進協議会では、甲州式ブドウ棚の棚掛け講習会を開催いたします。実際の作業を見ながら、修繕方法などを現場で学びます。

開催日: 令和8年2月26日
対象: 峡東地域に在住の方で棚掛けの技術を学びたい方
主催: 峡東地域世界農業遺産推進協議会

他、「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム(地域:山梨市・笛吹市・甲州市)」事業として、人材育成及び普及啓発のため各種イベントを実施している。

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
市内伝統芸能・祭典継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内5つの内4つの団体へ補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。担い手の高齢化や減少に伴い、一部演目を縮小して実施した伝統芸能もあったものの、多くの観客が集まり、伝統芸能の魅力を伝えた。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。		

状況を示す写真や資料等

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



【柏尾の藤切祭 (山梨県指定 無形民俗文化財)】



【藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)】



【田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)】
実施日: 令和8年1月17日



【一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)】

実施日: 令和8年1月31日
披露会場: 日本教育会館 一ツ橋ホール



【熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)】
令和7年度未実施

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史文化の発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市を訪れる観光客が、甲州市に点在する歴史的建造物や名所・旧跡を見学しやすいように、案内板や説明板、誘導標識などの公共サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内に点在する名所・旧跡に設置してある説明板で、老朽化がすすみ読みにくくなっているものや、情報が古くなっているものについて、説明板の交換を実施。令和7年度は国宝の鎧を所有する菅田天神社や立正寺の説明板を内容も新たに交換した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	要望や指摘を受けて修理対応としたが、情報の更新が前提となることから、QRコードの活用も検討していく。		

状況を示す写真や資料等



【菅田天神社】説明板



【立正寺】説明板

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致散策・景観形成協働事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～ 令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的で開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、地元のボランティアガイド・フットパス団体と連携し、勝沼地域において見学会を実施し、市内外から集まった参加者に歴史的風致に触れていただいた。また、伝統的建造物群保存地区である「甲州市塩山下小田原上条」においては、毎年開催している集落見学会のほか、景観形成協働事業を実施し、景観改善の機運を醸成することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。

状況を示す写真や資料等

歴史的風致散策



【日本遺産・世界農業遺産認定
ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス】
開催日: 令和7年9月21日、10月4日

【上条集落見学会】
開催日: 令和7年7月5日、11月3日

世界農業遺産「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」、日本遺産の他に現在取り組んでいる文化的景観について、現地を巡りながら解説した。
主催: 勝沼コンシェルジュ
共催: 勝沼フットパスの会、甲州市教育委員会生涯学習課
文化財担当、ワイン文化日本遺産協議会

伝統的建造物群保存地区である「上条集落」内を巡る見学会を、地元野菜収穫体験会に併せて開催。

景観形成協働事業

【塩山三日市場地区内のガードレール塗り】

開催日: 令和8年3月5日

旧甲州市環境センター跡地のこぴっと広場が所在する甲州市塩山三日市場の景観向上のため、白く目立つガードレールを景観配慮色(甲州ブラウン)に塗り替えるイベントを開催。 地元小学生 約20名参加



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和7年度
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

本市には、令和7年4月時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財155件の、合計266件の有形・無形の文化財が所在している。これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。令和7年度は伝統的建造物群保存地区「上条集落」内に所在する県指定文化財金井加里神社本殿及び、甲州街道沿いに所在する国登録有形文化財 旧田中銀行社屋の修理事業の実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市内に点在する文化財の現状から優先順位をつけて、計画的に修理・整備事業を実施できるように関係部局との調整を進めていく。
 令和8年度は県指定有形文化財 旧宮崎葡萄酒醸造所施設の修理事業の実施を予定している。

状況を示す写真や資料等

令和7年度修理建造物



【県指定文化財 金井加里神社本殿】



【国登録有形文化財 旧田中銀行社屋(旧田中銀行博物館)】

令和8年度修理予定建造物



【県指定有形文化財 旧宮崎葡萄酒醸造所施設】
 <修理予定箇所>

経年劣化によって腐食している北庇と、一部破損している東屋根の修理を行う。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。 また、令和7年度は旧高野家住宅、宮光園をメイン会場に、第24回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり(展示会場:旧高野家住宅 他9カ所)や五月飾り展、音楽演奏会など開催し、より広く文化財の活用ができるよう図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。		

状況を示す写真や資料等

重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷)



【第24回甲州市塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】

- ・甘草屋敷 雛飾り(令和8年2月11日～4月18日)
- ・甘草屋敷おもてなし演奏会(令和8年2月11日・3月19日)



【甘草屋敷 五月飾り展】
(令和7年5月3日～6月2日)

市指定文化財 宮光園



【甘草屋敷 秋のマンダリンコンサート】
(令和7年11月24日)



- 【第24回甲州市塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】
- ・宮光園雛飾り(令和8年2月11日～4月18日)
- 【宮光園コンサート】
- ・宮光園 springコンサート(令和8年2月21日)
 - ・宮光園ひなまつりコンサート(令和8年2月28日)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要文化的景観の選定を目指した取り組みを行っている。令和2年度、平成28年度から30年度までの調査結果をもとに、保存活用計画の検討を行い保存活用計画策定事業報告書(案)を作成した。令和7年度は、文化庁からの指導を受けながら、計画策定に向けて地元住民説明会や普及啓発フットパスなどを実施した。また、日本遺産事業としても、山梨県内にある各日本遺産協議会、世界農業遺産推進協議会が連携して、ブドウとワインに関する啓発セミナーなどを開催した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	日本農業遺産・世界農業遺産の取り組みと連携しながら、勝沼地区固有の歴史的な景観の保存・活用に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
<p>【勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観】 甲府盆地に広がるブドウ畑 緩やかに日川が下り、甲州街道が通る</p>		<p>【調査報告書】 発行日：平成31年3月31日 発行：甲州市/甲州市教育委員会</p>	
			
<p>【日本遺産・世界農業遺産認定 ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス】 開催日：令和7年9月21日、10月4日 主催：勝沼コンシェルジュ 共催：勝沼フットパスの会、甲州市教育委員会生涯学習課</p> <p>文化財担当、ワイン文化日本遺産協議会 後援：峡東ワインリゾート推進協議会</p>		<p>【日本遺産事業 甲州市立勝沼図書館 子ども読書クラブ (カムカムクラブ)によるデジタルライブラリー映像制作】 勝沼地域の歴史・文化、その魅力を地元の子どもたちによって紹介し、自ら撮影した映像をデジタルライブラリーとして保存・公開する企画「デジタルライブラリー映像制作」を実施した。</p> <p>① 柏尾山大善寺 編 ② 原茂ワイン・勝沼の葡萄栽培用具及び葡萄酒醸造用具 編</p>	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財の防災に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、防災計画(令和4年度策定)に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度から29年度にわたり、甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の「防災計画」策定に向けて、調査を工学院大学に委託して実施し、令和4年度に「防災計画」を策定した。令和5年以降、伝建地区内に新たに初期消火用の小型ポンプの設置、歴史的建造物(特定物件)1件を保存のため修理修景工事を実施する際して、「筋違い補強」など耐震対策をした。また、市内の文化財所有施設において、文化財の防火・防災に対する意識を高める機会として、1月26日の文化財防火デーに近い日程で、消防演習を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も「防災計画」に基づき、住民の生命、身体及び財産を災害から保護し、甲州市伝統的建造物群保存地区固有の歴史的な景観を活かしたまちづくりを推進していく。

状況を示す写真や資料等

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 消防水利現状図

令和5年度

【新規消火設備 設置】

【既存の消火設備】

令和6年度

【特定物件の耐震対策】
令和6年度、歴史的建造物(特定物件)1件について、保存のため修理工事に際して、「筋違い補強」をなど耐震対策をした。

市内での文化財防火デー消防演習

毎年、市内の文化財所有施設において、文化財の防火・防災に対する意識を高める機会として、1月26日の文化財防火デーに近い日程で、消防演習を実施している。

実施日：令和8年2月8日
 会場：三光寺(甲州市勝沼町菱山地区)
 参加者：甲州市消防団、東山梨消防署、三光寺



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題

計画に記載している内容
本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものと考えます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

文化財全般については、甲州市ホームページ及び文化財Facebookにて随時情報発信をすることに努めた。また、日本遺産「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～」事業として、ホームページ及びFacebook、X(旧Twitter)を活用した情報発信を積極的に行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
今後も積極的にSNS(ホームページ・Facebook等)を活用した情報発信を推進する。

状況を示す写真や資料等



【ホームページ】甲州市



【日本遺産ホームページ】



甲州市教育委員会生涯学習課文化財担当 Facebook
♥ ワイン文化日本遺産協議会 ♥
Facebook : <https://www.facebook.com/WineAndCultureJapanHeritageCouncil>
X(旧 Twitter) : ワイン文化日本遺産協議会 @wine140th

【Facebook】甲州市の文化財



【Facebook】ワイン文化日本遺産協議会



【X(旧Twitter)】ワイン文化日本遺産協議会

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 甲州市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和8年5月20日 午前10:00~11:00 1. 甲州市歴史的風致維持向上計画の事業進捗状況について 2. 令和7年度進捗評価について 3. その他	
(コメントの概要) ・甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区環境整備事業について事業完了となっているが、駐車場が集落から離れているために、観音堂周辺での路上駐車が問題になっている。観音堂の防火水槽の前などに止められてしまうと、火災時に速やかな対応を取ることができない。地域としては集落周辺に駐車場を増やしてほしい。 ・勝沼の景観が素晴らしい宝であるという認識を持っていただき、改めて登録に向けて進んでいってほしい。民間としてもワークショップ等で情報発信し、機運醸成に務める。 ・進捗評価シートを見る限り、歴まちの補助金ではなく、他の補助金を使っているように見受けられる。 ・歴まち計画を継続することで勝沼の重要文化的景観選定につながるなら、ぜひ継続してほしい。 ・歴まちの事業は歴まちの制度を使い、他の制度は他の事業に回してはどうか？進捗を見ると現状維持の計画が多いように感じる。制度をうまく使って甲州市にしかない歴史・景観の魅力を磨いてほしい。このことを踏まえ継続するか判断してほしい。 ・松里地区にもたくさんの文化財があるが、建物の劣化や関係人口の減少など年々維持が難しくなっている印象がある。市民としても協力したいと考えているので、補助金など使える制度はすべて使ってほしい。 ・住民の方は地元の歴史に関心があり、それが文化財の保護につながると考えている。しかし、文化財はいざ直そうと思うととてつもない額になってしまう。そのためにも使える制度は継続して行ってほしい。 また、市民の立場からすると、市がどのような文化財事業を手掛けているのかが全く見えていないという問題も感じている。現在の状況が分からないために、地域を知りたい、文化財を残したいと思ってもどのように協働していけばよいかが見えないというのが現状だと考えている。私どもの活動などもうまく使っていただき、協力していければ良いと考えている。	
(今後の対応方針) ・計画の継続を検討する。 ・委員のご意見を参考に、有利な補助金を使っていけるよう制度についてよく検討していく。	